

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果(H30.6.11)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	コクロデニウム ホリクイコイデス
6.JF鶴見ポンツーン前	12:00	6.5	20.3	34.08	8.5	0	300	0	0

参考:マダコ類における赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	1以上	10以上
ヘテロシグマ・アカシオ	500以上	5000以上
カレニア・ミキモイ	20以上	200以上
コクロデニウム・ホリクイコイデス	3以上	30以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* 魚の生理状態や環境条件等によって、上記警戒密度より低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイが確認されました。

カレニア・ミキモイは、JF鶴見ポンツーン前の中層で注意密度を超えています。

今後の天候等によって本種が増殖し、赤潮化が危惧されます。周辺魚介類の管理にはくれぐれも気をつけてください。

